

荏原実業株式会社

(証券コード：6328)

個人投資家向け説明会

2026年 7月 9日

心地よい環境を、未来へつなぐ。



1. エグゼクティブ・サマリー
2. 会社概要
3. 成長戦略
4. 株主還元

プログラム

1. エグゼクティブ・サマリー

2. 会社概要

3. 成長戦略

4. 株主還元

会社概要



商号	荏原実業株式会社
本店所在地	東京都中央区銀座七丁目14番1号
設立	1946年11月
証券コード	6328(東証プライム)
決算期	12月
事業内容	環境関連製品の製造販売 上下水道設備等のエンジニアリングサービス ポンプ等の産業機械の販売

心地よい環境を、未来へつなぐ。

ブランドネーム(エバテンス)



「荏原実業のトータル環境ソリューション([EBA](#)RAJITSUGYO [T](#)otal [En](#)vironmental [S](#)olutions)」を集約

直近期の業績・計画

(単位:百万円)	2024/12 実績		2025/12 実績		2026/12 計画	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
売上高	37,503	100.0	41,211	100.0	44,000	100.0
売上総利益	11,727	31.3	13,927	33.8	14,200	32.3
販管費	7,475	19.9	7,806	18.9	7,900	18.0
営業利益	4,251	11.3	6,121	14.9	6,300	14.3
経常利益	4,443	11.8	6,316	15.3	6,500	14.8
当期純利益	3,157	8.4	4,384	10.6	4,500	10.2
受注高	39,833	-	43,598	-	46,000	-
受注残高	33,750	-	36,136	-	38,136	-

沿革

メーカー事業を開始

環境ニーズの多様化



エンジニアリング事業を開始

高度経済成長期、社会インフラ整備



商社事業を開始

戦後産業復興



1946

1956

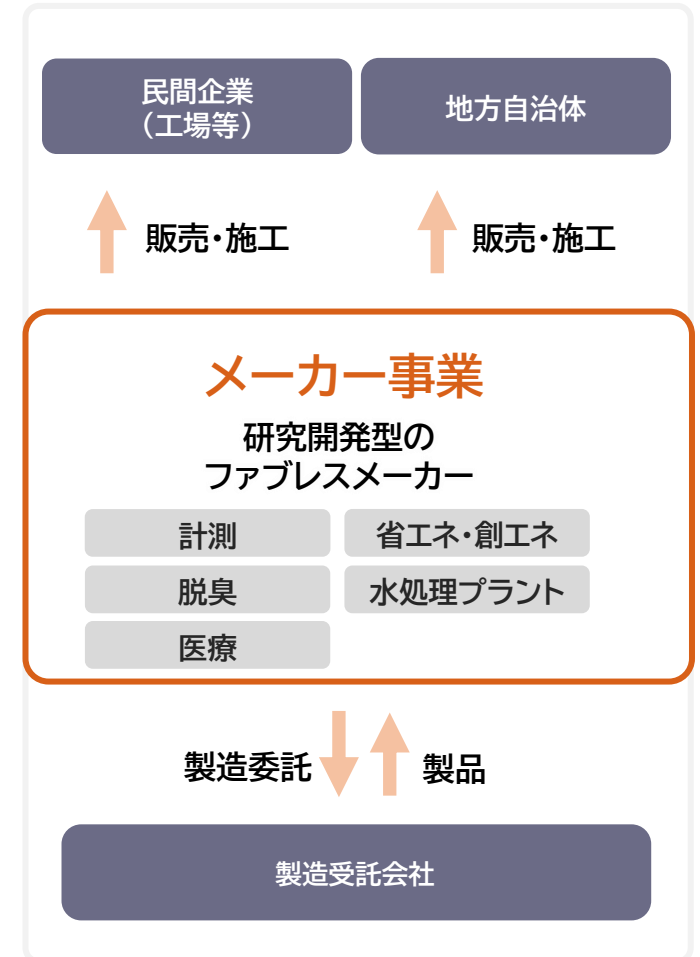
1976

メーカー事業

- ✓ “環境”に関する製品を開発し、製造販売する事業
- ✓ 技術・知見をベースに市場優位を形成するニッチトップ戦略
- ✓ 生産設備を自社では保有しないファブレス方式



ビジネスモデル



メーカー事業

★製品・ソリューション(一部)

オゾンモニタ

- 液体、気体中のオゾン濃度を計測する製品
- オゾンを利用した“高度浄水処理”を行う施設で採用
- 半導体製造の、オゾンを使用する工程でも導入
- 上水道向けでは国内トップシェアを有する



陸上養殖設備

- 陸上で水産物を養殖する設備のエンジニアリング
- 全国の水産試験場や、民間の養殖事業者から受注
- 海水を扱う施設をメインに、30年以上の実績
- 海洋環境の変化に伴い循環式陸上養殖が注目を集める

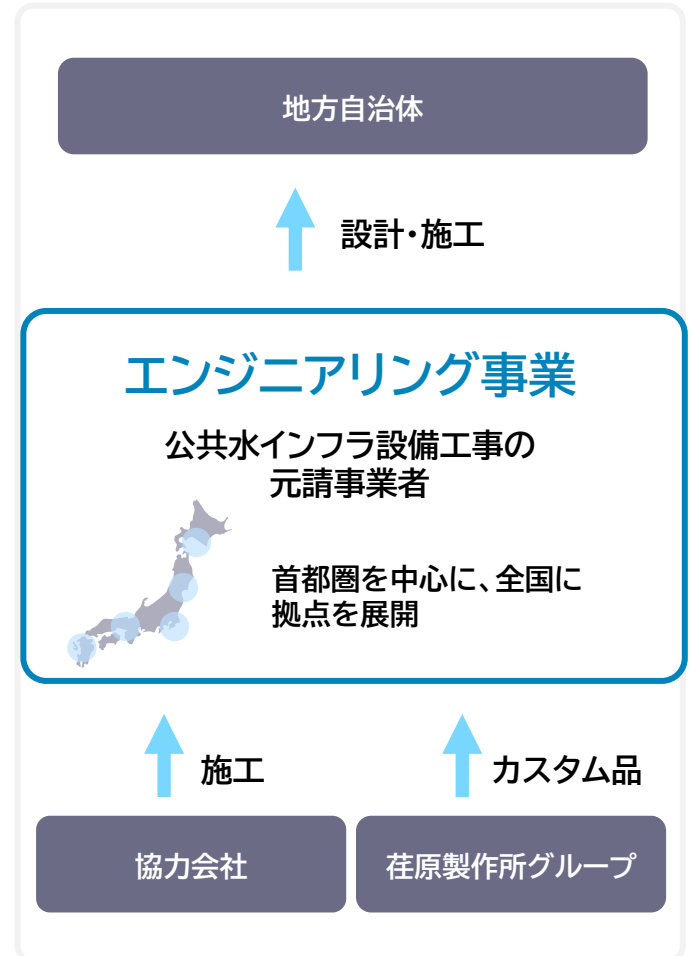


エンジニアリング事業

- ✓ 上下水道インフラ設備に関するエンジニアリングを提供
- ✓ いわゆる“公共工事”の元請事業者
- ✓ 首都圏を中心に全国に展開



ビジネスモデル



エンジニアリング事業

★納品先の例

下水処理場

- 下水道で集められた下水を処理して、河川や海に放流できるようにする施設



排水機場

- 大雨などによる市街地や農地への水害を防ぐために、雨水をポンプによって河川や海に放流する施設



商社事業

- ✓ ポンプ、ファン、ブロワなどの風水力機器を販売する事業
- ✓ 荏原製作所グループの製品の販売代理業が主体
- ✓ 建設、化学、鉄鋼、食品など、各種産業分野に供給



ビジネスモデル

ゼネコン・サブコン 他民間企業



商社事業

荏原製作所グループ製品の
代理店業務を主体とする商社

荏原製作所グループ製品

約80%

その他製品

約20%



荏原製作所グループ



機器メーカー

商社事業

★納品先の例

ビル

- ビルの給水用ポンプや空調機器を納品
- ポンプは荏原製作所の汎用ポンプの他、特殊ポンプ等も
- 空調機器は、ファンや冷凍機、冷却塔等
- 顧客はゼネコン、サブコンなどの建設業者

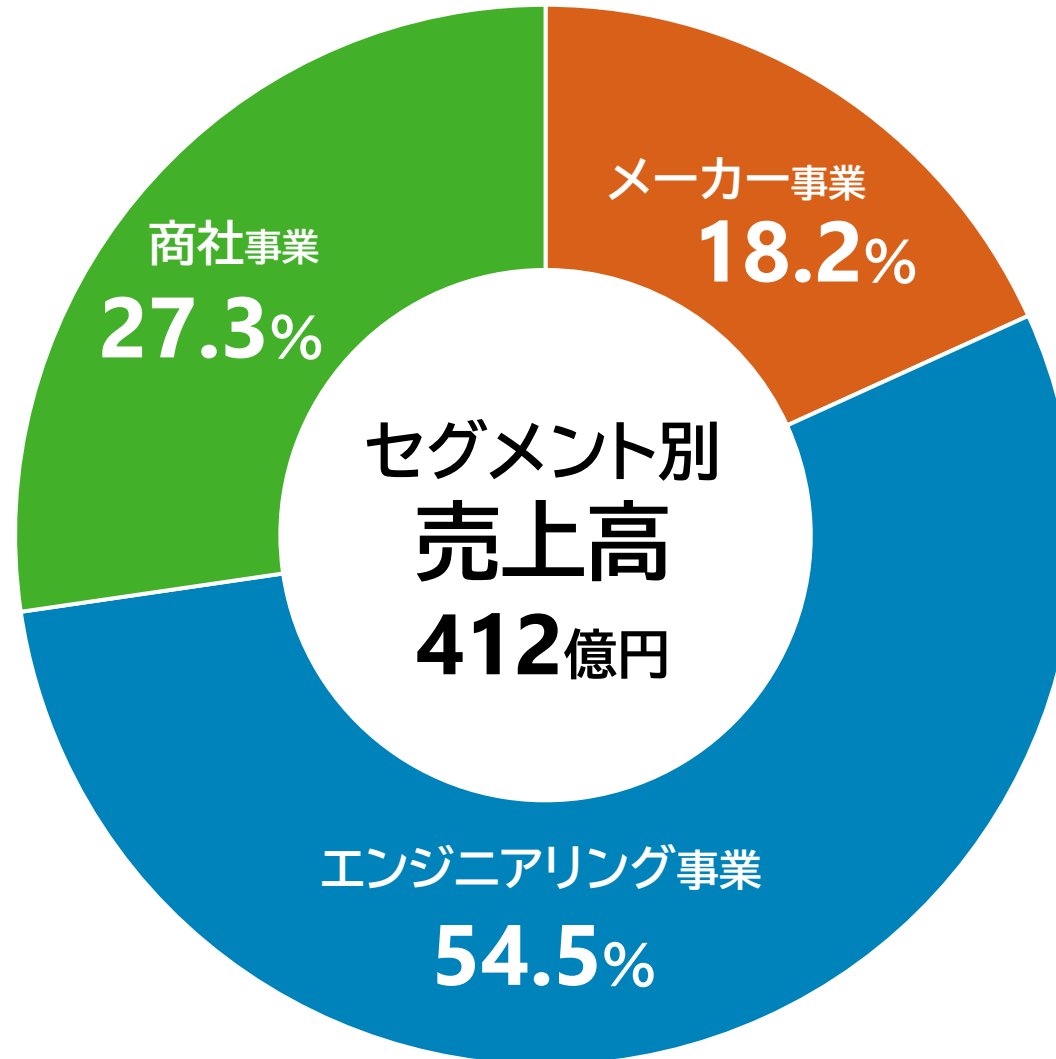


工場

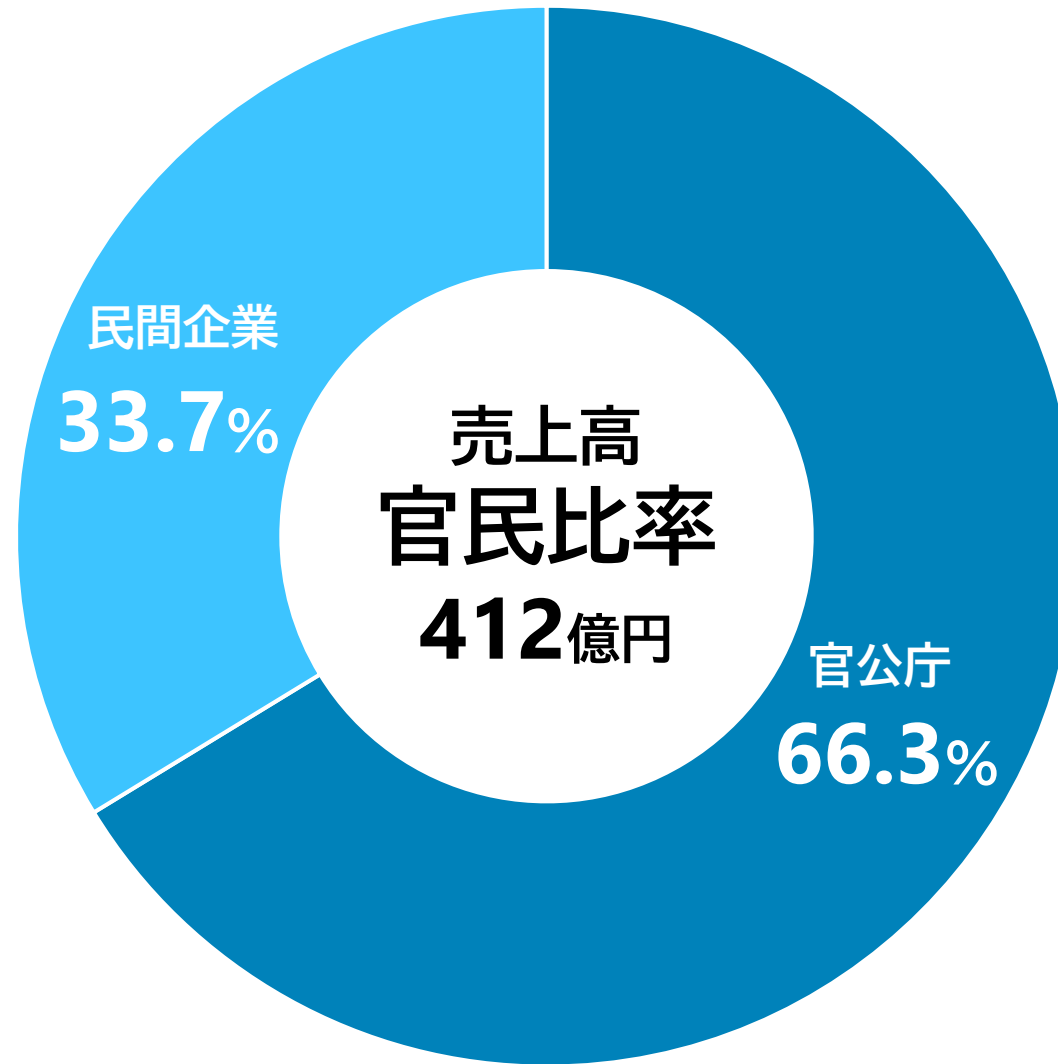
- 工場の生産現場にある風水冷熱機器を納品
- ポンプ、コンプレッサ、ボイラ、ブロワなど
- 単に納品するだけでなく、施工を行う場合もある
- 機器本体と配管を予め組み上げる各種“ユニット”も提供



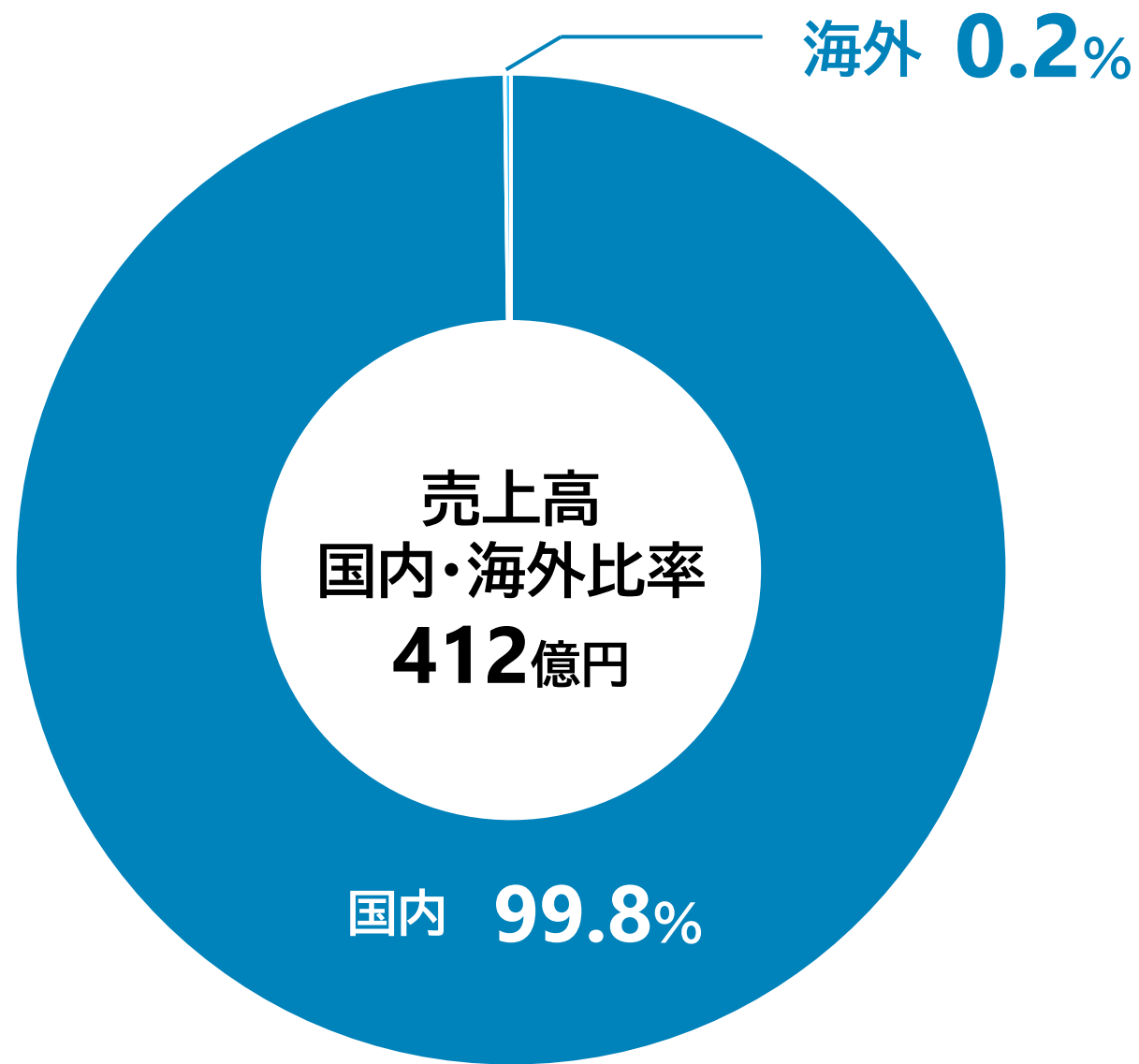
セグメント毎の売上高(2025年12月期実績)



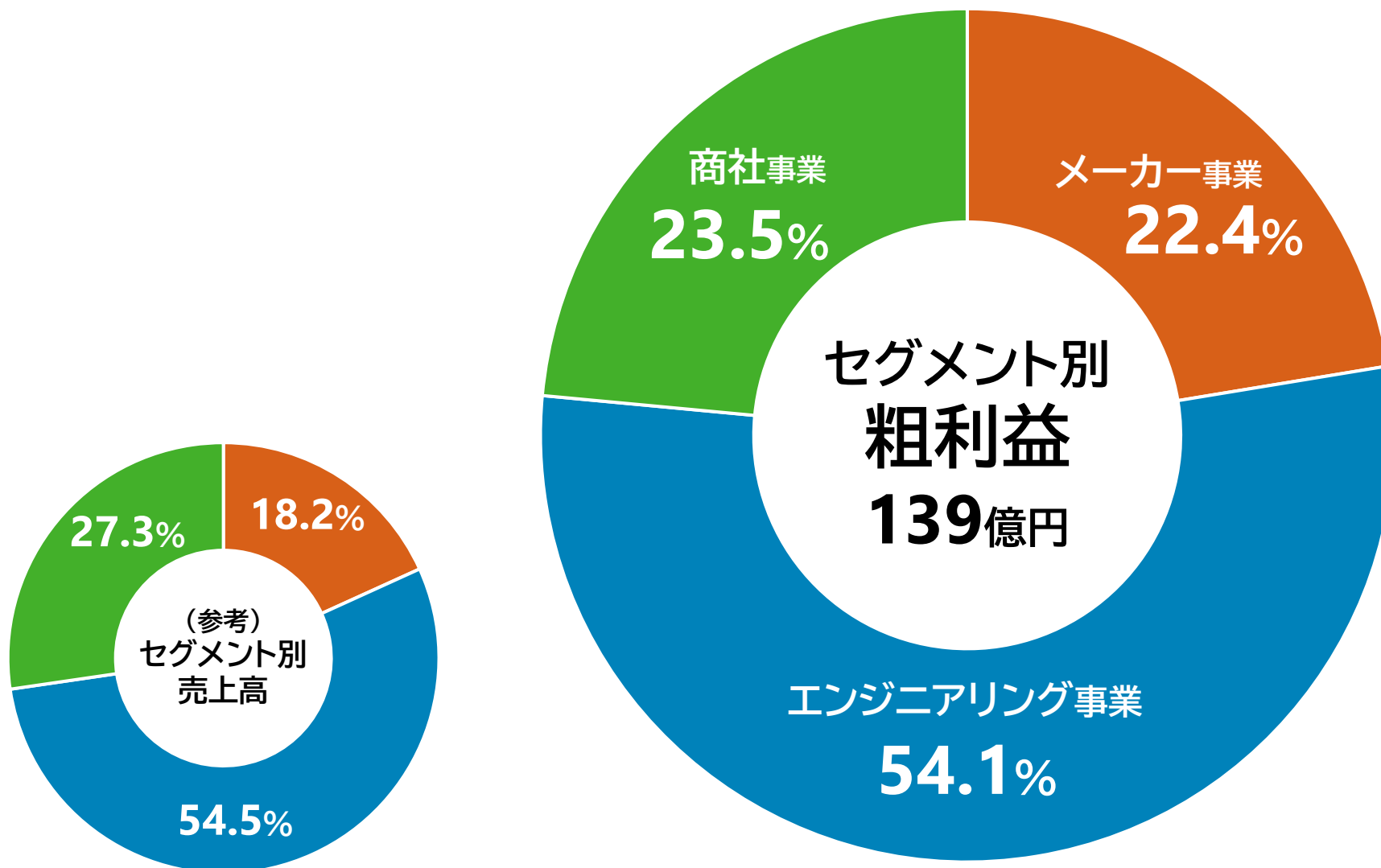
売上高官民比率(2025年12月期実績)



売上高国内／海外比率(2025年12月期実績)



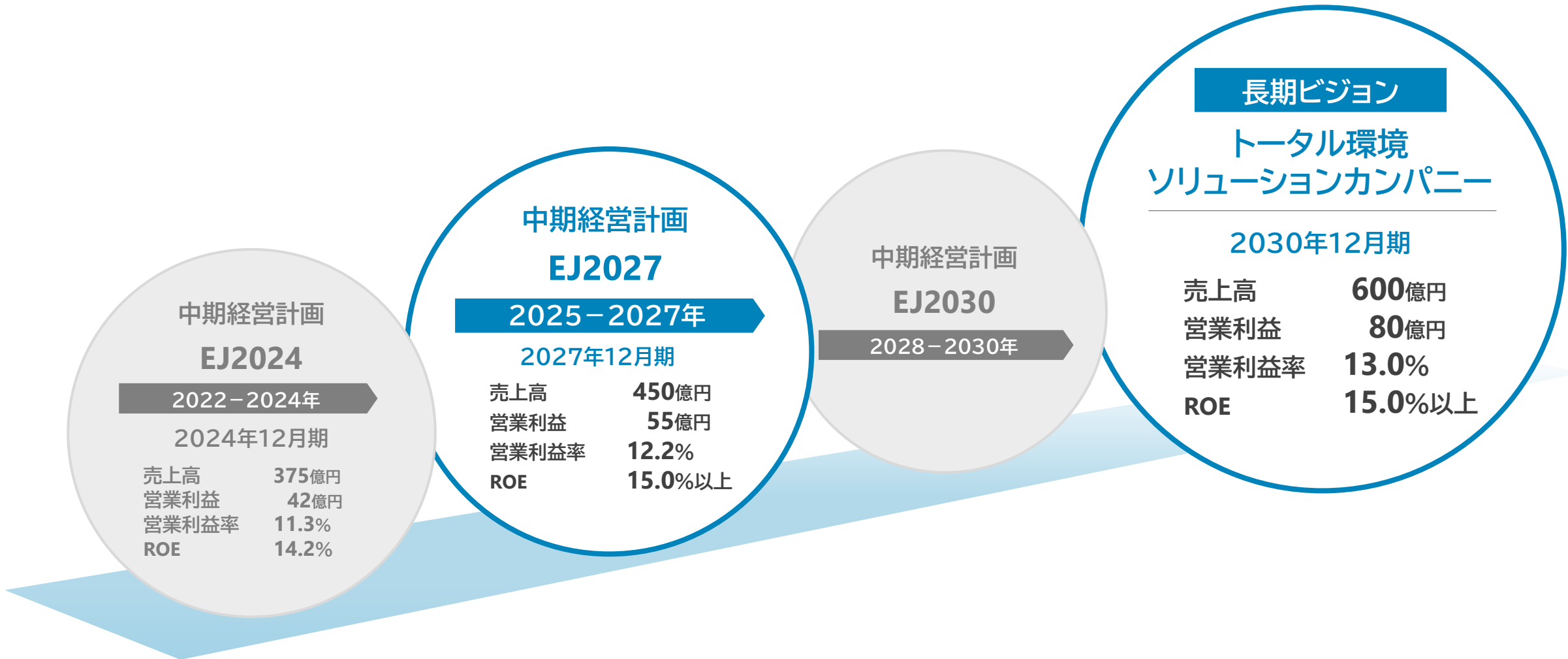
セグメント毎の粗利益(2025年12月期実績)



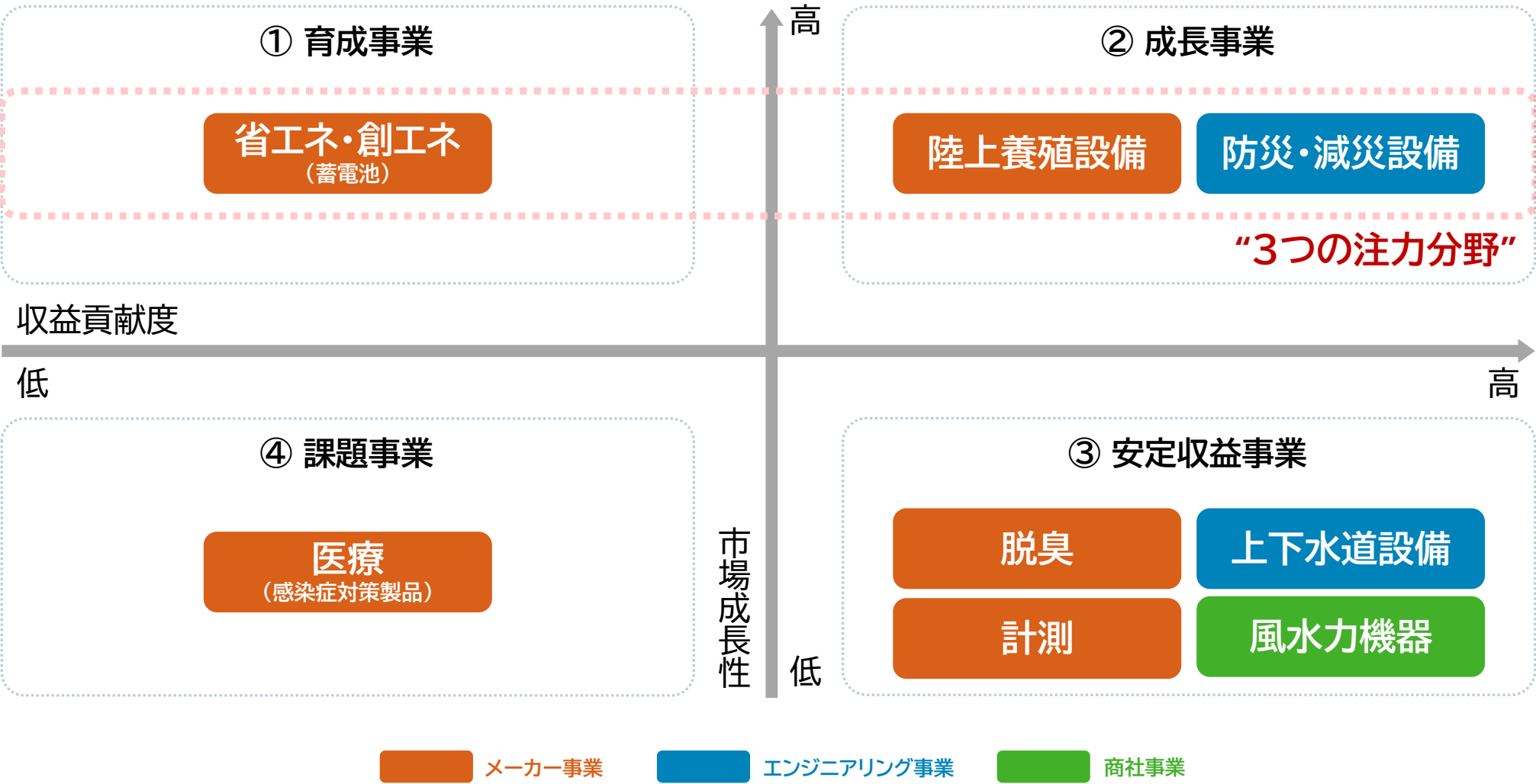
プログラム

1. エグゼクティブ・サマリー
2. 会社概要
- 3. 成長戦略**
4. 株主還元

長期ビジョンと現在の位置付け



事業ポートフォリオの分析



(参考)内閣官房の戦略17分野

国内投資を起点として、日本を再び成長軌道に乗せることを目的に選定された17の戦略分野

戦略17分野



01
AI・半導体



02
デジタル・
サイバーセキュリティ



03
情報通信



04
量子



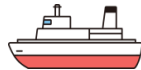
05
防衛産業



06
航空・宇宙



07
海洋



08
造船



09
マテリアル
(重要鉱物・部素材)



10
合成生物学・バイオ



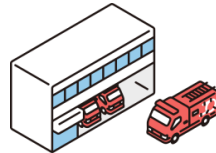
11
創薬・先端医療



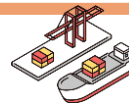
12
資源・エネルギー
安全保障・GX



13
フュージョン
エネルギー



14
防災・国土強靱化



15
港湾ロジスティクス



陸上養殖
16
フードテック



17
コンテンツ

国土強靱化

ソフト

個人・地域コミュニティ

- 家屋の耐震化・家具の固定

- 防災情報の発信や防災教育の実施

- 避難路・避難設備の整備

- 食糧や防災用品の備蓄

- ハザードマップの確認・防災訓練への参加

民間企業・団体

- 事業継続計画(BCP)の策定

- オフィス・工場の耐震化

国土強靱化が 目指すこと

大災害が発生しても

人命の保護

経済社会の維持

迅速な復旧復興

財産及び公共施設の
被害最小化

- インフラ老朽化対策

- 堤防等の整備・強化

- 道路ネットワークの機能強化

国・地方自治体

国土強靱化

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法

国土強靱化基本計画

調和

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策
(2018年度～2020年度の3年間)

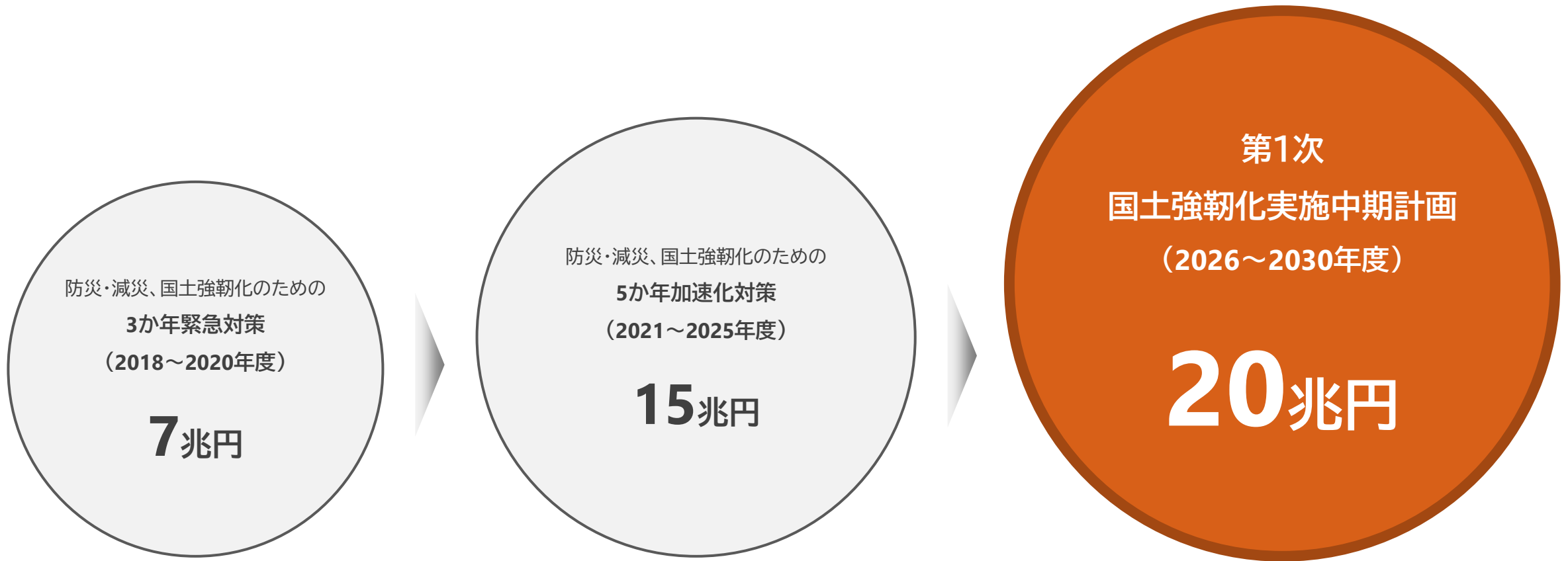
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
(2021年度～2025年度の5年間)

第1次国土強靱化実施中期計画
(2026年度～2030年度の5年間)

国土強靱化地域計画

(都道府県・市町村が策定)

国土強靱化 関連予算の推移



国土強靱化 荏原実業のソリューション

排水機場

- 大雨などによる市街地や農地への水害を防ぐために、雨水をポンプによって河川や海に放流する施設
- 増水時には水門を締め、排水路への逆流を防ぎつつ、ポンプで河川側に強制的に排水する

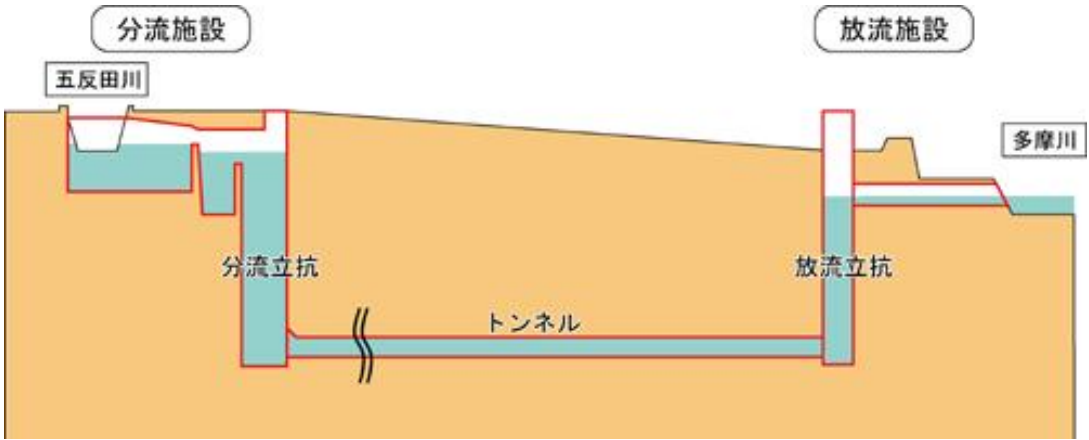


雨水調整池

- 大都市圏の地下などに設置され、河川の氾濫や内水氾濫から都市を守る施設
- 降った雨水を一時的に貯留し、河川や下水道へ流出する雨水の量を調整する



国土強靱化 五反田川放水路設備その2工事



※川崎市ウェブサイト(<https://www.city.kawasaki.jp/>)から引用

(再掲)戦略17分野



01
AI・半導体



02
デジタル・
サイバーセキュリティ



03
情報通信



04
量子



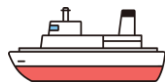
05
防衛産業



06
航空・宇宙



07
海洋



08
造船



09
マテリアル
(重要鉱物・部素材)



10
合成生物学・バイオ



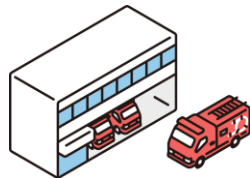
11
創薬・先端医療



12
資源・エネルギー
安全保障・GX



13
フュージョン
エネルギー



14
防災・国土強靱化



15
港湾ロジスティクス



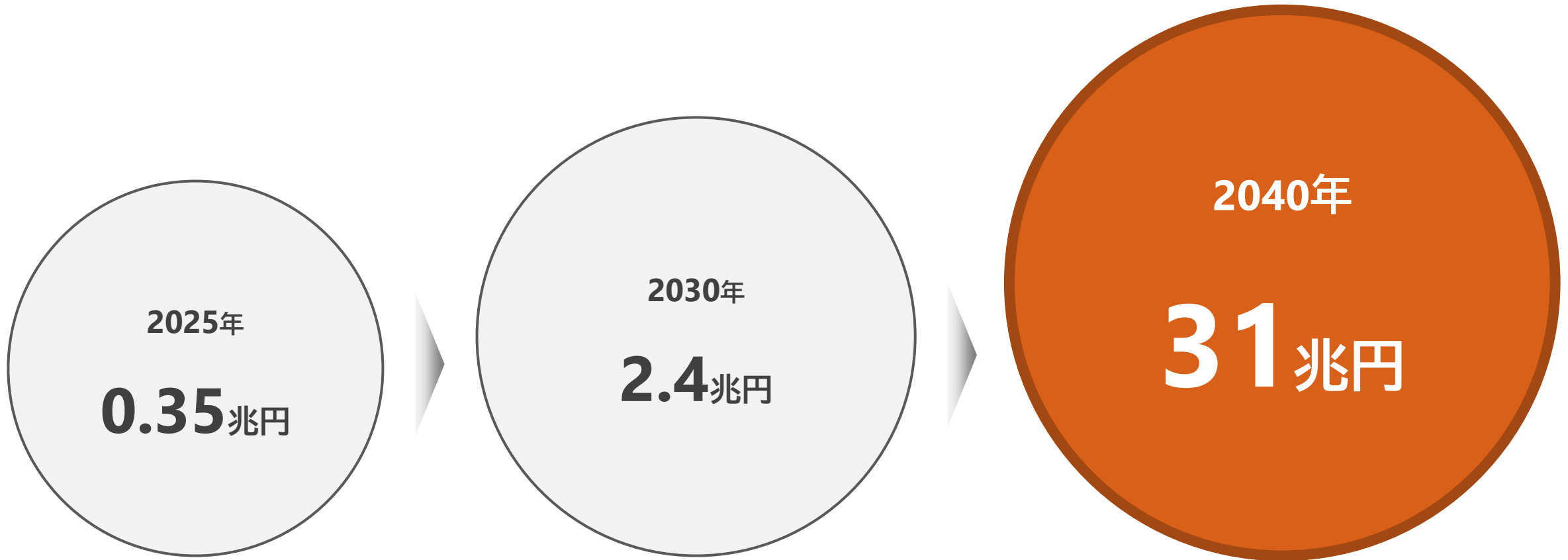
陸上養殖
16
フードテック



17
コンテンツ

陸上養殖 世界市場規模(予測)

陸上養殖システム(生産物込)の世界市場規模(予測)



陸上養殖 官民投資額



官民投資額

2040年までに **2.9兆円**

陸上養殖システムを順次確立

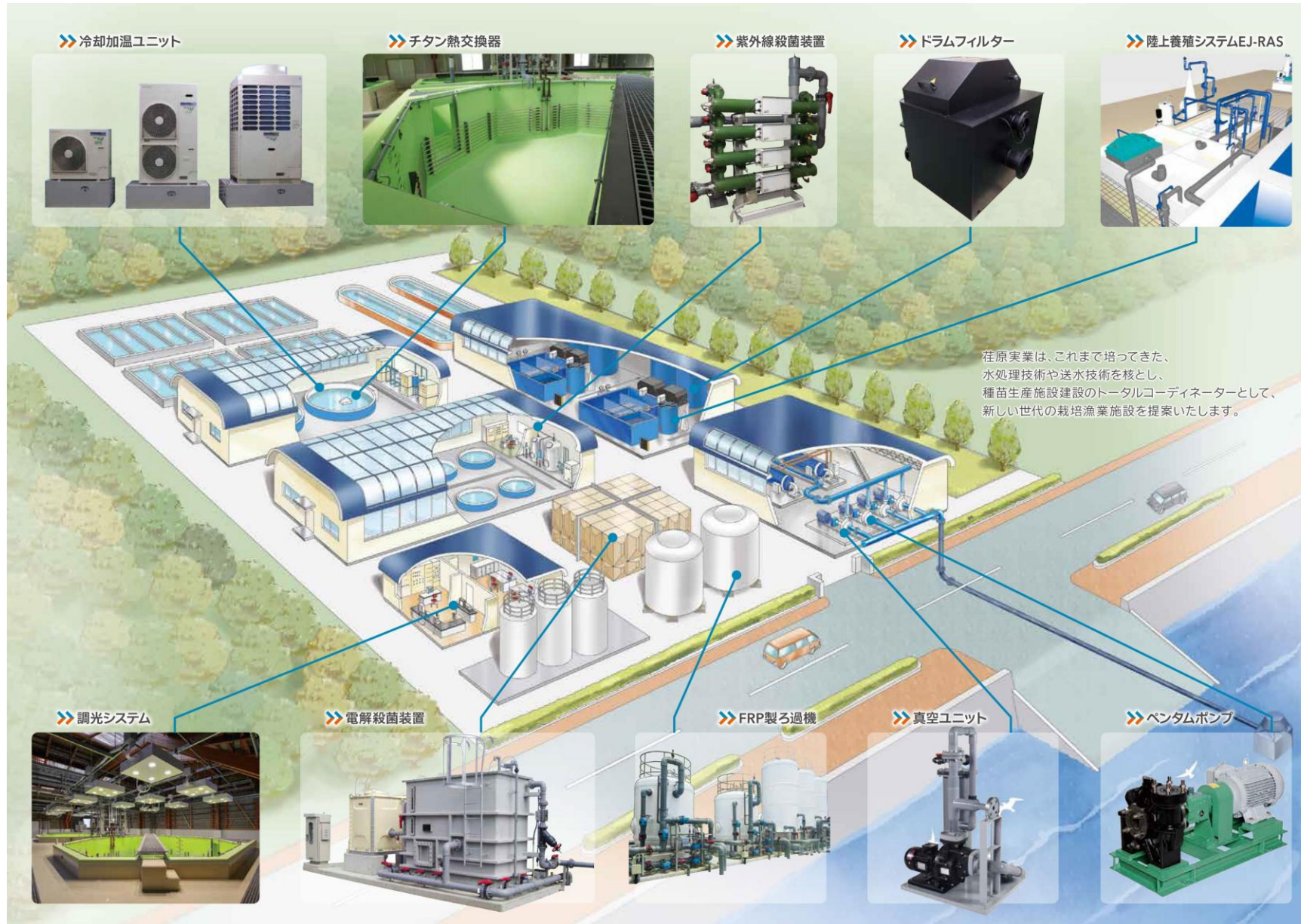


陸上養殖システムの国内展開



陸上養殖システムの海外展開

陸上養殖 荏原実業のソリューション



水産養殖施設向けに

30年以上の実績

- 水産試験場
- 栽培漁業センター
- 水族館
- 養殖場 etc.

陸上養殖 施工実績

1. 大分県種苗生産施設(国東)

- マコガレイ、クルマエビ等の種苗を生産する施設
- 閉鎖循環式システムや緑色LED光照射設備等の新設備の導入に貢献



2. 宮城県水産技術総合センター 閉鎖循環式陸上養殖研究棟

- ギンザケ、イワナ等の養殖技術を開発する施設
- 閉鎖循環式システム一式の整備を担当



陸上養殖(種苗生産)設備工事の受注に関するお知らせ



News Release

各位

2026 年 5 月 1 日

荏原実業株式会社
(コード番号: 6328 東証プライム市場)

陸上養殖(種苗生産)設備工事の受注に関するお知らせ

荏原実業株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長執行役員兼COO 石井孝)は、千葉県富津市にある、水産総合研究センター種苗生産研究所富津生産開発室の機械設備等改修工事を受注しました。

1. 工事の概要

千葉県水産総合研究センターは、水産業の振興を目的とした千葉県の組織で、種苗生産研究所富津生産開発室は海産魚類(ヒラメ、マコガレイ等)の種苗生産の拠点です。現在、千葉県内にある複数の生産・研究拠点の再編整備が進められており、分散して行われていた海産魚類種苗生産を富津生産開発室に集約することが計画されています。

今回の工事は、富津生産開発室の各施設の全面的なリニューアルを行うとともに、新たにマダイ、トラフグの種苗生産施設を整備するための機械設備等の改修工事です。

工 事 名	水産総合研究センター再編整備種苗生産研究所 (富津生産開発室)機械設備等改修工事
工 事 場 所	千葉県富津市小久保
工 期	2026 年 3 月 14 日～2028 年 3 月 8 日
契 約 金 額	27億円(消費税除く)

荏原実業株式会社

〒104-8174 東京都中央区郡部七丁目14番1号

<https://www.ejpr.co.jp/>

工事名

水産総合研究センター再編整備種苗生産研究所
(富津生産開発室)機械設備等改修工事

対象施設

- 魚類飼育棟
- 機械棟
- 新魚産卵心化飼育棟
- 飼料培養作業棟
- ろ過施設・ポンプ棟
- 管理棟
- 外構
- その他

工期

2026年3月14日～2028年3月8日

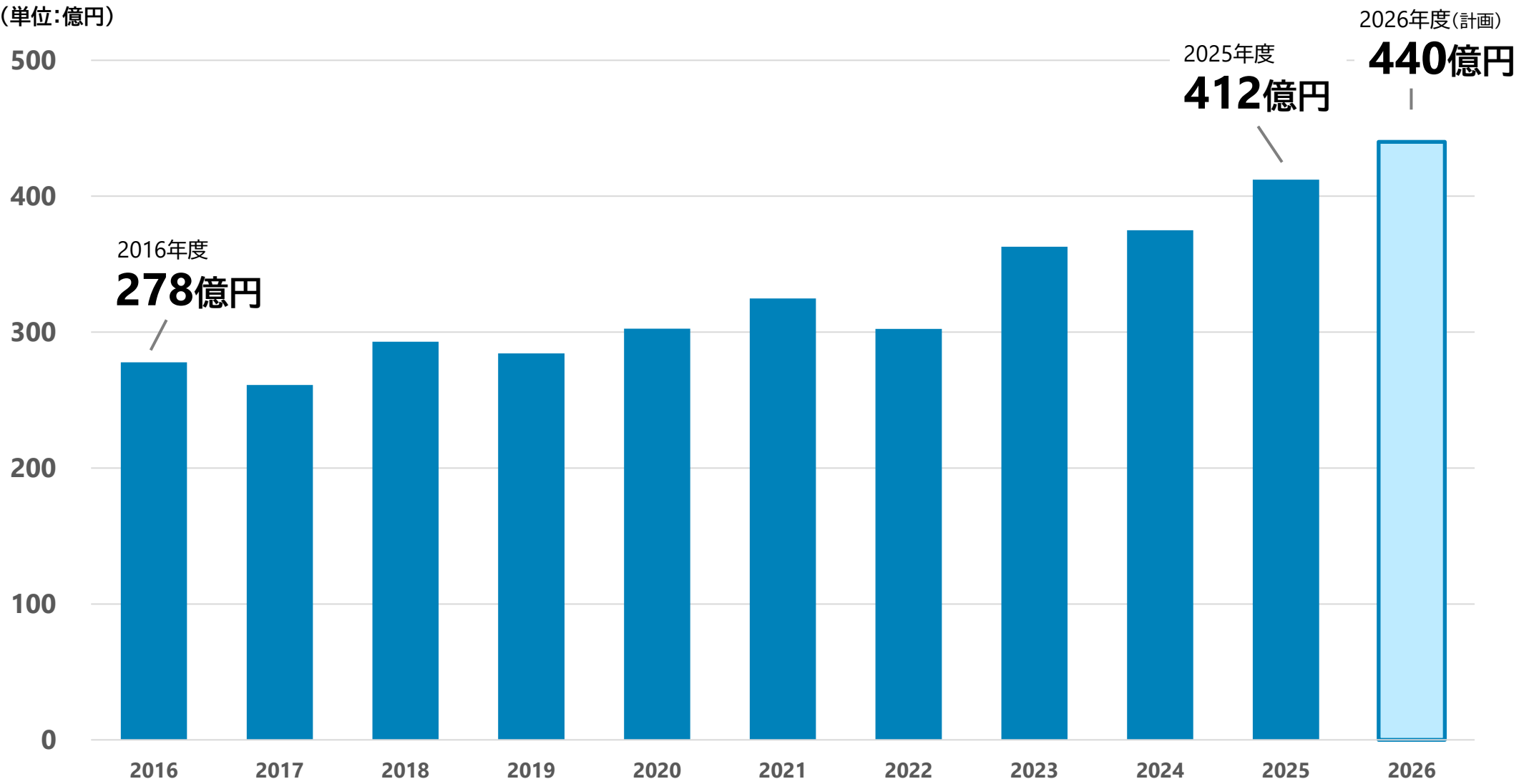
契約金額

27億円(税抜き)

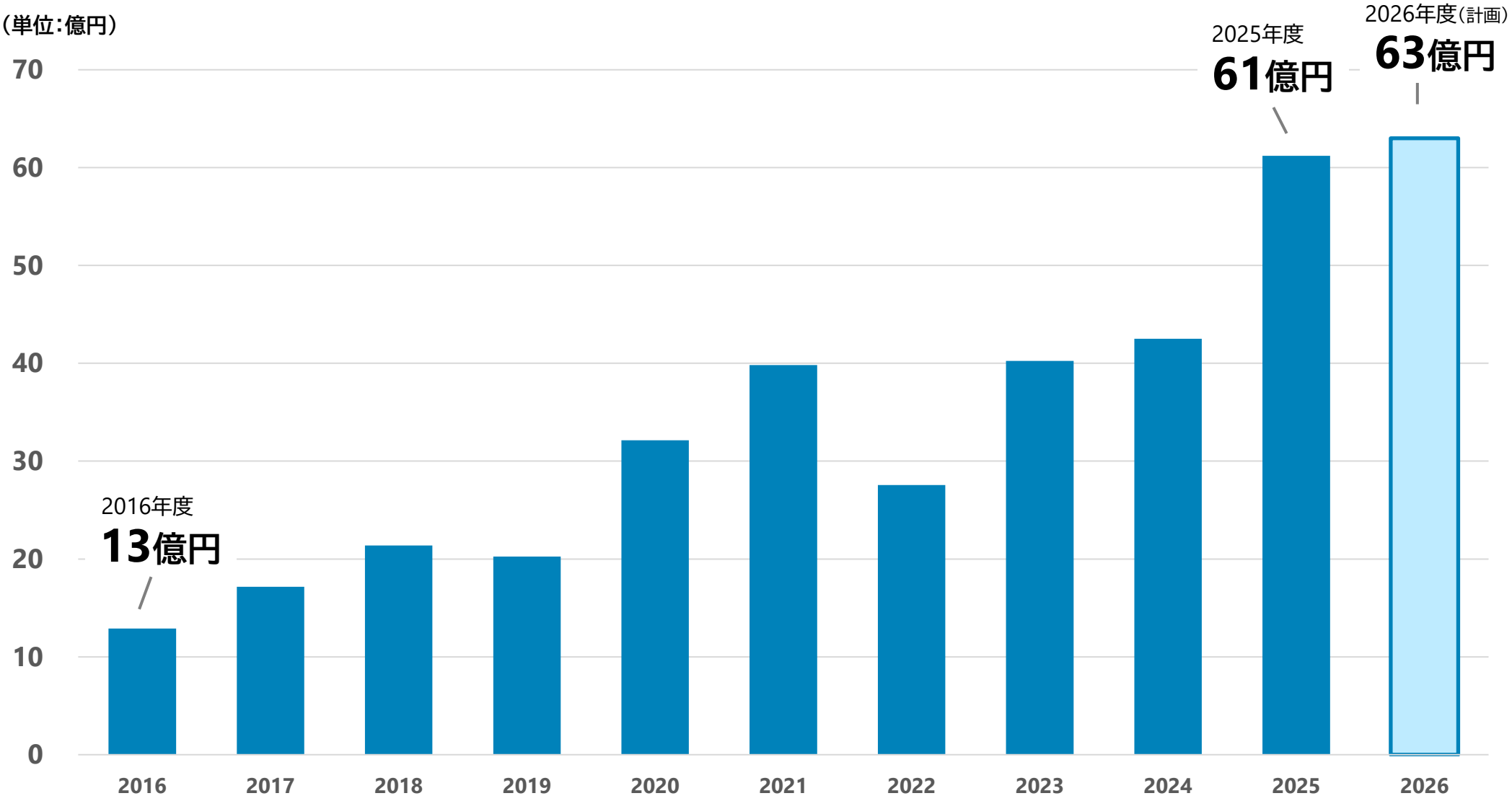
プログラム

1. エグゼクティブ・サマリー
2. 会社概要
3. 成長戦略
4. 株主還元

売上高の推移

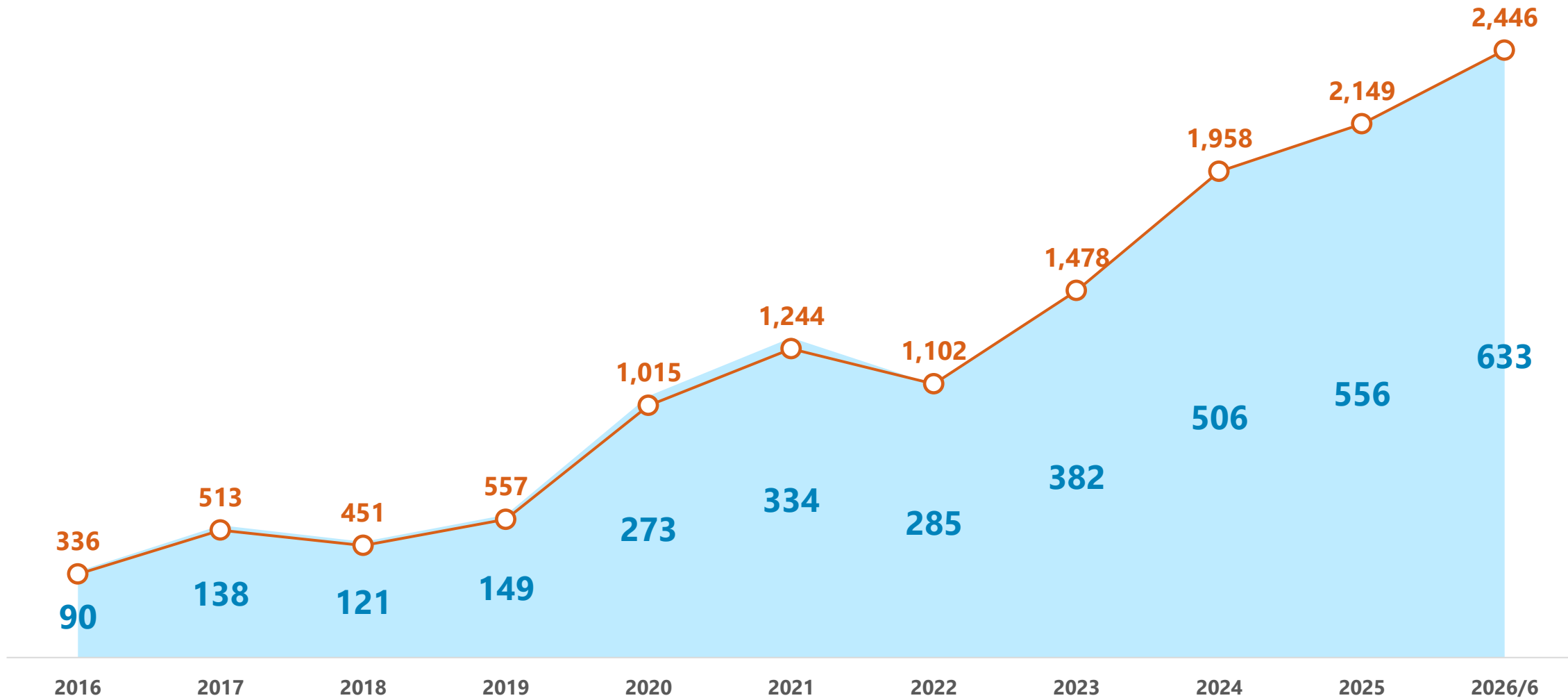


営業利益の推移



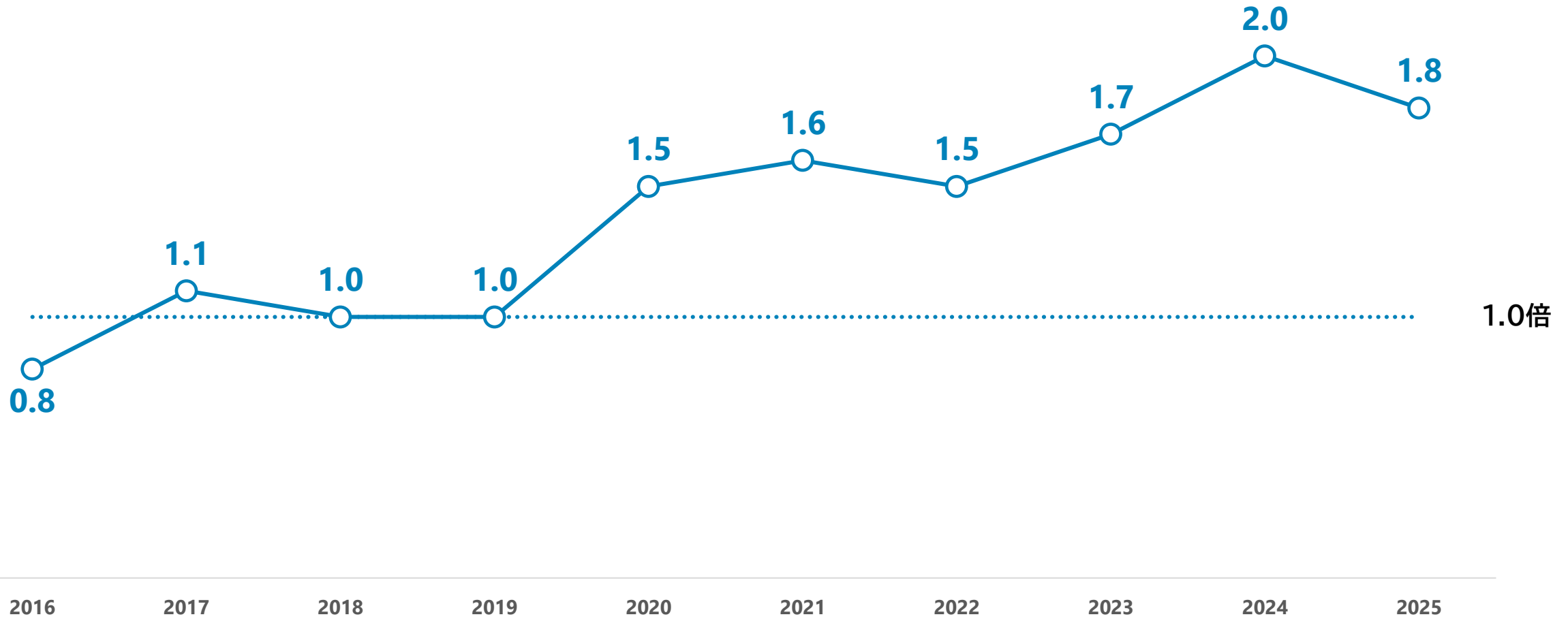
株価の推移(株式分割考慮後)

■ 時価総額(億円) ○ 株価(円)



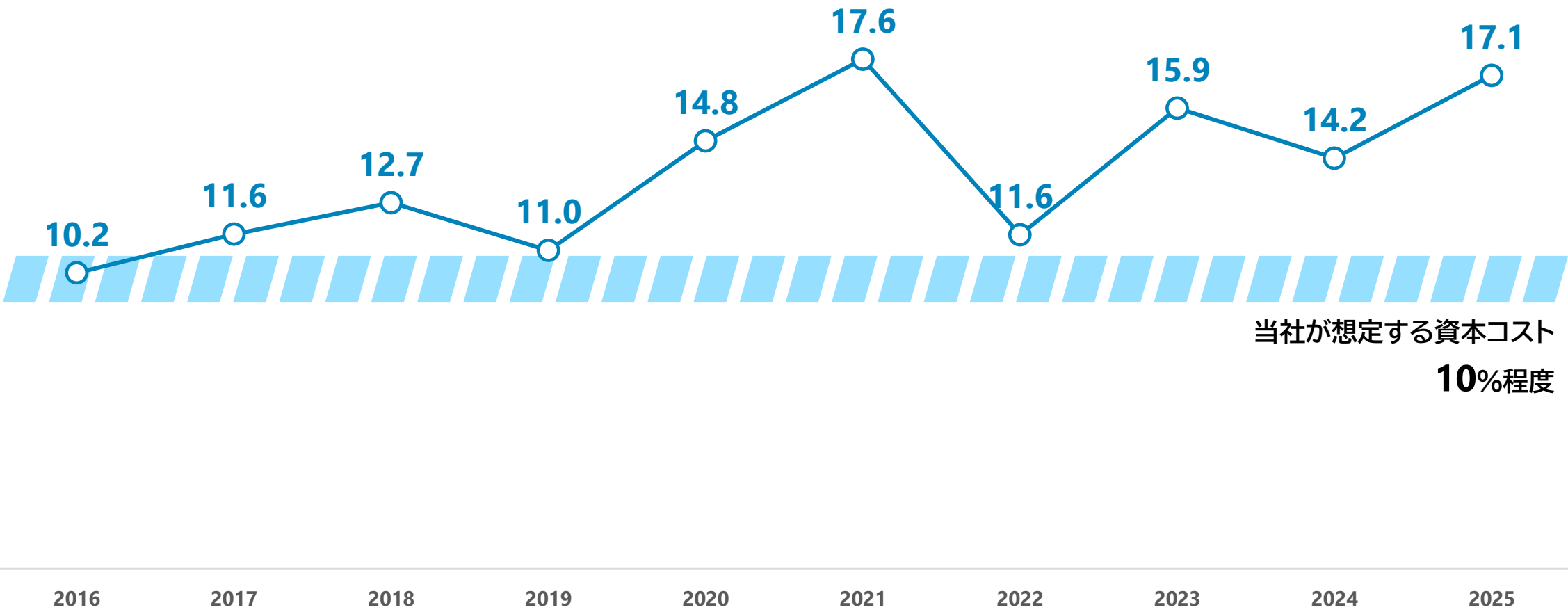
PBRの推移

○ PBR(倍)



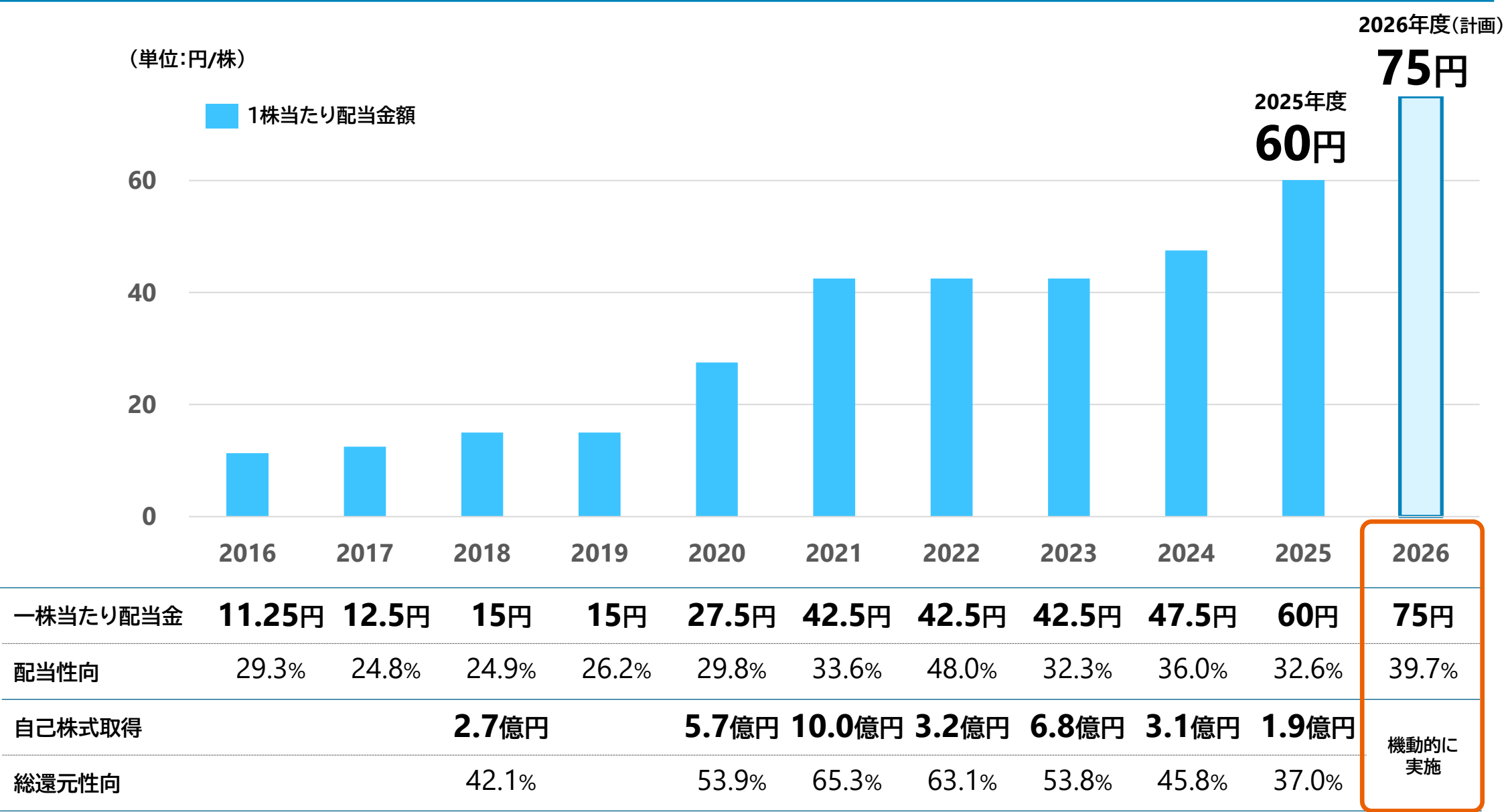
ROEの推移

ROE(%)



当社が想定する資本コスト
10%程度

株主還元の推移



配当

基本方針

配当性向 40%を目安に、安定的かつ継続的な利益還元を実施

配当基本方針の変更

2025年12月期まで

配当性向 **35%**を目安に、安定的かつ継続的な利益還元を実施



2026年12月期以降

配当性向 **40%**を目安に、安定的かつ継続的な利益還元を実施

自己株式の取得

基本方針

利益還元の一つとして、資金需要・株価水準を考慮しながら、機動的に自己株式取得を実施

自己株式の取得(2026年2月9日決議)

取得期間

2026年2月10日から2026年8月31日

取得価額の総額

10 億円(上限)

取得する株式の総数

600,000株(上限)

発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合：**2.52%**

本日のポイント

①官民双方の市場に展開し、景気変動に強い事業基盤を構築

②防災・減災、陸上養殖など、成長市場を保有

③業績成長とともに株主還元を拡大、株価も上昇

心地よい環境を、未来へつなぐ。



荏原実業株式会社